

紫藤通信

第70回卒業証書授与式



冬の寒さも和らぎ春の風が吹き始めた三月二日、第七十回卒業証書授与式が厳かに挙行された。今年度は新型コロナウイルスの影響で午前と午後、二回に分けての開催となった。卒業生三五九名の呼名が終わると、校長先生より、「新型コロナウイルス下という逆境の中で頑張ったことは将来の宝になるだろう。卒業後は先輩や古典などの書物から知識を蓄えて見識を養い、それらを基に決断



力といった胆識の三つを身につけて欲しい。」と式辞を述べられた。続いて岡理事長より「今回のような状況の中でも努力をする人、しない人で大きな差が出る。禍福は糾える縄の如し」という言葉があるがこのピンチの後に必ずチャンスは訪れる。そのチャンスを逃さないためにも努力し続けてほしい。」と述べられた。

続く卒業生代表の言葉は、午前は三組の増渕竣亮君、午後は八組の本田梢さんが三年間の学校生活を振り返りながら、お世話になった先生方や保護者に対して感謝の気持ちを述べていた。

式が終わると担任の先生に引率されて各ホームルームの教室へ向かい、会場を後にした。天気は午前の曇りから午後は雨に変わってしまう生憎の天気であったが、学び舎から巣立っていく卒業生の前途は明るいものに包まれているだろう。

●各賞授与

- 山村学園理事長賞 九組 高橋 裕真
- 学校長賞 七組 小林 弘輝
- 後援会長賞 二組 栗城 有沙
- 日本私立中学高等学校連合会会長賞 九組 中谷 桃菜
- 埼玉県私立中学高等学校協会会長賞 八組 早瀬 夏希
- 埼玉県私立中学高等学校保護者連合会会長賞 三組 丸田 心温
- 国際文化賞 二組 西山 侑夏
- 山村要二記念賞 一組 赤坂 翼
- 埼玉県スポーツ振興協会会長賞 三組 堀 愛生
- 四組 金屋 美伶
- 山村ふみよ記念賞 六組 大平 心優
- 産業教育振興中央会会長賞 六組 榊崎 菜穂
- 埼玉県産業教育振興協会会長賞 六組 清水 彩百
- 三カ年皆勤賞 五組 山崎 礼夢
- 六組 網 千尋

発行所
山村国際高等学校
坂戸市千代田1-2-23
☎ 049-281-0221

印刷所
有限会社 須賀印刷

<http://www.yamamura-kokusai.ed.jp>

素直な心で新たな

夢へのチャレンジを

校長 中山達朗

私たちは、とかく現状に安ずるといふか、今が良ければそれでよしという考えに陥りがちですが、日々時は刻々と流れ、移り変わっていきます。そのため、私たちが新たな時の流れに相応しいものの考え方を、成り行き方といったものを次々に創造していくことが必要であると思えます。こうした心がけが「昨日より今日」「今日より明日」といった進歩、向上、発展という変遷に繋がるのではないのでしょうか。

さらに、新しいものを創り上げていくためには、現状の固定概念を変え、日々新たな変化に対応できる柔軟な心を養うことが重要です。その柔軟な心は、常に物事に対する素直な心から醸し出されるものです。

今後とも、山国生として、また、一人の人間として、素直な心を大切に、新たな夢の実現に向けチャレンジしてください。

蝋螂

創刊時から本
コラムは、近代文
学の作家や作品

を題材にしてきたが、古典文学や現代の作家も扱うようになった。蝋螂は英名マンティス、語源はギリシヤ語で「予言者」の意だという。鎌を振り上げた姿を祈りの姿と見たのだ。この「蝋螂」という題の元となった故事として「蝋螂の斧」というものがある。かまきりが前脚をあげて、齊の莊公が乗る大きな車に立ち向かったという故事から、「弱い者が自分の力をわきまえず、強い相手に立ち向かうこと」という意で用いられるようになった。文学からは多くのことが学べ、それが自身の考えに繋がるということもある。そのような文学との出会いを大切にしてほしいものである。(今回のコラムで「蝋螂」は最後となります。)



三年生送別会



今年度の送別会は、新型コロナウイルス感染症予防の観点から例年とは異なり教室での実施となった。Zoomを利用したクイズ大会や、映像作品を鑑賞する形で無事終えることが出来た。クイズ大会では学校に関する問題、先生方に協力していただいたVTR問題を出題した。映像作品については、例年以上に各部活動や先生方に協力してもらい、生徒が教室でも楽しめるような送別会になったと感じた。

今年度、学校行事が思うように行えない環境下において、全校生徒で送別会を実施出来たことは一つの大きな成果となった。しかし、初の実施方法という点もあり課題点も多く挙がった。来年度の送別会がどのような形で行えるか定かではないが、今年度の成果・課題を活かせる送別会を来年度は行いたい。



English Proficiency Improvement Seminar イングリッシュスキルアップセミナー

2月8日〜2月13日の1週間にわたり、1年生のイングリッシュスキルアップセミナーが行われました。今年度は新型コロナウイルス感染症予防の観点から、マスクを着用し、席の間隔を十分に離したうえで、のセミナーとなりました。

初日は、普段あまり置かれることのないオールイングリッシュの環境と、学年内の全クラスをシャッフルして編成されたグループの新鮮さに期待を膨らませている生徒もいれば、緊張を露わにしている生徒も見られました。しかし、授業を通じて徐々に多くの生徒が英語での活動に慣れ親しむようになり、各クラス内では講義形式の授業や多種多様なアクティビティを通じて、講師の出身国について学習するなど生徒たちは戸惑いながらも懸命に取り組んでいました。



最終日には、授業内のディスカッションで扱ったトピックから題材を選び、用意した原稿をもとに各グループによるプレゼンテーションが行われました。続いて各クラス内で代表グループを選出し、生徒ホールと体育館の2か所に分かれての最終発表が行われました。ほとんどの生徒が原稿に頼らず話す努力をしていて、中にはジェスチャーをうまく使いながら伝えようとする生徒もいました。

一週間のセミナーを通し、英語力が向上したばかりでなく、今後必要とされる「人に伝えようとする力」や、クラスの枠を超えての交流により、コミュニケーション能力が高まるなど、様々な面で成果をあげることができました。



アダム



日本とフランスの学校では様々な違いがありますが、私は日本の学校が好きです。

日本の学校は朝九時から始まる二十五時には終わります。しかしフランスの学校は、朝八時から十八時まであります。そのため毎日、五つの違う授業で宿題が出ますが宿題をやる時間があります。授業自体も日本とは少し違います。それは教室が毎時間変わることです。日本では先生が教室を移動しますが、フランスでは生徒が動きます。授業の時間も日本とフランスでは全然違います。一時間は五十五分で授業は人それぞれ違います。二時間続けて授業の生徒もいれば休み時間の生徒もいます。これは良いことです。

また学校にはバスで登校します。電車は大きな街にしかなく、村に電車はめずらしいです。そのため私はフランスでは寮に住んでいました。寮は学校の中にあり、寮の人々は毎週金曜日の夜に自分の家に帰り、また月曜日の朝に学校行きます。フランスでは街と村に自分のチームがあります。そのおかげで人々は好きなスポーツをすることが出来ます。選手の家族は毎週土日に試合があるため、みんなで応援に来てくれます。

日本とフランスでは様々な違いがありますが、もともと日本語や日本のことを知するためにこれからも頑張りたいと思います。これからもよろしくお願ひします。

International Students 留学生紹介

サミュエル



私はイタリア人で日本に来てから四ヶ月くらい経ちました。今回は私にとって一番大事な文化の違いについて話したいと思います。それから、私の学んだことや日本に居る間の目的についても話したいと思います。文化の違いに関して二つの話題について話したいと思います。それは時間を守ることと仕事についてです。イタリアに比べて日本では時間を守ることが重要なことです。個人的には日本の慣習の方が好きです。イタリアではある約束が七時であれば七時三〇分に来るのは問題ありません。だから私はいつも時間通りに来るので待つしかなかったり、イタリアの慣習にも利点があります。例えば、一般的に仕事

の時間は日本に比べると短いです。その上残業は珍しく、給料も高いです。次に今まで学んだことの紹介をしたいと思います。私が最も上達していることは日本語を話すことです。もちろん、まだペラペラではないけれど日本に居れば居るほど、どんどん話せるようになっていきます。また、言語以外にも色々な伝統や習慣を学んで慣れてきています。

また、習いたいことや出来るようになりたいことはたくさんあります。少なくとも簡単な日本の料理が作れるようになったいです。また、普通の本を読めるようになったいです。今は漫画が大体読めますが、普通の本が読めるようになるまでたくさん勉強しなくてはならないので、これからもよろしくお願ひします。ありがとうございます。

2022年度生の進路状況

【大学】 大学入学共通テスト

二〇二一年度(令和三年度)の大学入学共通テストの志願者数は、前年(センター試験)より二二四五四人減り、全国で五三二二四五五人(うち受験者数四八四一一四人)であった。長年行われてきたセンター試験から新たに共通テストへと切り替わる本年、二万人を超える志願者の減少が見られたが、この背景の一つには、過去に二度行われた「試行調査」から問題レベルの難化が予想され、これを敬遠する動きが広がったことがある。国立大学の志願者総数は四二五四一五人で、募集人員九八九七八に対する志願倍率は四・二倍(前年度は四・四倍)であった。倍率は年々減少してきているが、前述の通り共通テストの志願者数が前年度比九六％であることを考慮すると、国立大を敬遠した動きとは必ずしも言えないであろう。なお、本校からは昨年より四一名多しい一四名が共通テストを受験した。

私立大学では、まず共通テストを含めた新入試導入の初年度ということもあり、指定校推薦を利用して年内に合格を決める受験生が全国的に多かったと言われている。受験生の総数が減少していることもあるが、事実、共通テスト利用入試を含む一般入試の志願者数は、「早慶上理」・「MARCH」・「日東駒専」のいずれの大学群においても前年度比九〇％と大きく減少した。個々の状況では、例えば早稲田大学では前年度比八八％で、過去五〇年近く維持した志願者数一〇万人を割り込んだことは、大きく報道された通りである。しかし一方では、共通テスト利用入試を今年から導入した上智大学や学習院大学、英語を中心とした入試改革に取り組んだ立教大学では前年以上の志願者を集めた。新型コロナウイルスへの対応もまた、志願者数に影響を与えたとの指摘がある。四月からの「原則」対面授業を公表している大学に、志願者が集まる傾向が見られるから

である。なお、本校生徒の大学進学率は、現在確定しているだけでも過去最高の数値となっている。(以下は令和三年三月一日時点の入試結果です)

【短期大学】

短大への進学を決めた本校生徒は、昨年度とほぼ変わらず八・四％(昨年度八・九％)であった。系列校の山村学園短期大学子ども学科に八名が進学予定である。それ以外では、看護系(埼玉医科短期大学に二名合格)をはじめ栄養系・ビジネス系といった多様な進学先が並んだ。今年も推薦系入試(総合型選抜・学校推薦型選抜)に向けてしっかりと準備・対策を行い、見事合格を勝ち取った生徒が多い。

【専修学校】

専修学校を希望する生徒は、昨年より大きく減少し二〇・九(昨年度三〇・七％)であった。学ぶ学科・コースは、医療系(看護・理学療法・柔道整復・観光系・建築系・情報系など)多岐にわたるが、中でも人気が高かったのは看護を含む医療系・公務員養成系・理美容系で、それぞれ九名の進学が決定している。

【就職】

文部科学省発表の「令和三年三月高等学校卒業予定者の就職内定状況」によると、埼玉県内の令和二年十一月末までの就職内定者は五〇一〇名で、内定率は七六・八％(前年度比一・七％増)であった。男女別では、男子の内定者が二八六一名で内定率は七六・三％、女子の内定者が二一四九名で内定率は七七・五％と、どちらも高い就職内定率となった。しかしながら、公務員に関しては国家・地方共に依然人気が高く、初級とはいえ厳しい状況である。公務員試験の内容は、教養試験(適性試験・作文・面接など)だが、教養試験では、社会・数学・国語など幅広い科目に関する一般知識と文章理解力、数的推理力などの一般能力が問われるため、早期に対策をとる必要がある。本校では、陸上自衛隊に一名合格、また三名が民間企業に内定している。

進 路 報 告

～進路指導部より～

私立大学		天理大学	
亜細亜大学	6	東海大学	3
跡見学園女子大学	6	東京医療保健大学	1
浦和大学	2	東京医療学園大学	1
桜美林大学	3	東京家政大学	1
学習院大学	1	東京経済大学	1
神田外語大学	1	東京国際工科専門職大学	1
関東学院大学	1	東京国際大学	17
共立女子大学	4	東京女子体育大学	3
杏林大学	4	東京聖栄大学	1
工学院大学	4	東京電機大学	10
国士舘大学	1	東京富士大学	2
駒澤大学	1	東京理科大学	1
駒沢女子大学	2	東洋大学	5
埼玉学園大学	1	徳島文理大学	1
埼玉工業大学	6	獨協大学	2
相模女子大学	1	日本医療科学大学	7
札幌大学	1	日本経済大学	1
実践女子大学	1	日本工業大学	5
十文字学園女子大学	14	日本女子体育大学	2
淑徳大学	8	日本大学	1
城西国際大学	2	日本保健医療大学	1
城西大学	22	人間総合科学大学	3
尚美学園大学	10	文化学園大学	2
上武大学	2	文教大学	2
情報経営イノベーション専門職大学	1	文京学院大学	15
女子栄養大学	3	防衛大学校	2
白百合女子大学	1	法政大学	1
駿河台大学	7	武蔵大学	1
聖学院大学	2	武蔵野音楽大学	2
聖徳大学	2	武蔵野学院大学	1
西武文理大学	1	明海大学	2
大正大学	4	明治大学	6
大東文化大学	26	明星大学	1
拓殖大学	4	目白大学	5
千葉工業大学	1	ものづくり大学	1
中央大学	1	横浜美術大学	1
津田塾大学	1	横浜薬科大学	2
帝京大学	6	立教大学	3
帝京科学大学	4	立正大学	3
帝京平成大学	2	早稲田大学	1

カウンセリングルームより

「百聞は一見にしかず」ということわざがあります。英語では「Seeing is Believing」と表現されるようです。つまり、見れば信じられるということなのです。しかし、カウンセリングではその逆の「Believing is Seeing」つまり、「信じていれば見えてくる」という姿勢を大切にします。「何を信じているか」によって、「どのように見るか」影響を受け、それにより「何が見えるか」が変わり、そうすると「何をするか」も変わってくるのです。

相手に問題があると信じているか、どこにどんな問題があるか見て探します。それによって問題が見つかる、問題を指摘したくなります。でも相手に宝物(リソース)があると信じていけば、どこにどんな宝物があるかを見て探すようになります。それにより相手の良い点や得意なところ、

頑張っているところが見つかってきます。そうすると相手の得意なところを活かせるようにしたり、褒めたり認めたりしていくことができます。相手は同じなのに、正反対の状況が生まれます。これは人に対してだけではなく、出来事に対しても応用できると思えます。ちよつと視点を変えて、「どんな宝物があるかな?」と相手とかかわったり、探したりする姿勢を心がけてみませんか?



葵 (花言葉: 信じる心)

事務室だより

コロナ禍で始まった令和2年度、何もかもが中止や延期で事業計画どおりに進められない状況でしたが、事務事業に對しましては、皆様方の多大なご理解とご協力をいただきました。心から感謝申し上げます。事務事業や施設関係でご不便をおかけしている所もあるとは思いますが、全ての生徒が安心・安全に勉強や部活動に打ち込める環境作りを順次整えていきたいと思っておりますので、引き続きご理解とご協力をお願いいたします。

皆様には、授業料の納入、就学支援金及び埼玉県の父母負担軽減申請等におきましては、大変お世話になりました。皆様のご協力により手続きが全て完了し、現在届け出のある授業料振替口座への振込処理をいたしましたので、

確認をお願いいたします。

なお、新2年生・新3年生の方々については、令和3年度になりましたら引き続き「就学支援金・父母負担軽減申請等」についての書類を提出していただくこととなります。例年通りですと、第1回目の申請は6〜7月に生徒を通してお知らせいたします。お手元に資料が届かない場合は、事務室までご連絡ください。

